

和歌山県立串本古座高等学校

広報くしこざ

編集：発行：串本古座高等学校地域協議会

INDEX

- ・令和4年度9月～令和4年度12月のトピックス 1～3
- ・地域協議会 4～5



令和4年度二学期の動き

7月

7月13日（水）串本中学校を訪問

7月15日（金）潮岬中学校を訪問



総合的な探究の時間で実施しているコミュニケーションスキルの向上の取り組みの実践の一つとして考え、1年生の生徒が出身校に出向き、学校生活や授業・クラブ活動などさまざまなことについて中学校の後輩に伝えるという取り組みです。

今年度初めての取り組みでしたが、串本中学校、潮岬中学校の協力を得られたことに感謝しています。今回実施できなかった中学校においても実施していきたいと考えています。

7月13日（水）

生徒全員によるビーチクリーンを実施



今回ビーチクリーンは、串本町田原にある田原海水浴場で実施しました。この場所は、民間ロケット射場「スペース

ポート紀伊」の近くにあります。

とても暑い日でしたが、ゴミや流木の片付けを頑張ってくれました。

大会は事前プレゼン・打ち上げ・事後プレゼンと3パート有り、それぞれ評価がなされ、最終成績が決定されます。本校は、昨年度

7月16、17日

和歌山市立青少年国際交流センターおよびコスモパーク加太で開催された缶サット甲子園2022和歌山地方大会に出場

に続き2回目の出場でした。昨年度はロケットの強度不足ということを経験していたので、今年度はしっかりと対策を講じて打ち上げは成功しました。しかし、搭載物がパラシュートと干渉してしまうトラブルに見舞われ、搭載物が破損してしまうという結果になりました。生徒たちは来年度に向け検討に入っています。



7月24日（土）

「宇宙シンポジウム in 串本 2022」に1年生が様々な役割をとおして運営に参加



これは、大人の人と一緒に運営に参加することで、コミュニケーションスキルを伸ばすことにつながるのではないかと考えました。講演を聞くだけの参加ではなく、運営に参加し講演を聞くことができないかと考え、相談したところ、高校生に協力願いたい役割とし

て受付や司会、インタビューアー、取材対応等 10 種類の役割の連絡を受けました。普段ではイベントの裏側を見ることができないので、役割をこなし運営に参加できたことは生徒たちにとって貴重な体験だったと思います。

9月

9月10日（土） オープンスクールを実施



体育館では生徒会の司会により、生徒が特徴ある授業の説明を行いました。説明終了後は、事前に希望調査を行った結果をもとにクラブ活動または授業を体験して頂きました。



9月14日（水） 福島県只見市立只見中学校と本校 CGS 部が交流

福島県只見市立只見中学校の生徒と本校 CGS 部が交流を実施しました。只見中学校とはユネスコ活動を通じて知り合い、以前から修学旅行で串本に来たときに交流をしないと依頼を受けていました。コロナウィルス感染症の拡大に伴い延期となっていました。やっと実現することができました。

交流は、只見中学校から只見市のことについて本校生徒がプレゼンテーションを受けたあと、CGS 部の生徒と一緒に上浦海岸にてビーチクリーンを行い、海洋生物について学びました。



只見市は四方を山にかこまれており、中学生も海と接する機会は少ないとのこととても興味深く説明を聞き、最後は集合写真を撮影し終了しました。短い時間でしたが充実した時間を過ごしていたように思います。



ITC プログラミングコンテスト表彰

1 年 清野 健太郎君が開発した国際宇宙ステーション（ISS）の現在位置や、「スペースポート紀伊」などのロケット発射場の位置情報を地図上に表示し、ロケットの打ち上げ情報などを確認できるアプリを開発し、最優秀賞を受賞しました。

10月

10月21日（金）～23日（日） 日本ジオパーク全国大会に参加

石川県白山市で行われた第 12 回日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会に、3 年次の学校選択科目の南紀自然文化探究選択生 2 名と、CGS 部の生徒 1 名が参加してきました。



「民話を方言で伝える取り組み〜絵本の読み聞かせの実践事例〜」というテーマでポスター発表



本年度の南紀自然文化探究では、南紀熊野ジオパークセンター様にご協力頂き、橋杭岩や河内島、鯛島などの成り立ちや地質を勉強してきました。その中で生徒達は、同センターから出版された橋杭

岩と河内島に関する民話が方言で書かれた絵本に興味を持ちました。

ポスター発表だけでなく、他県の大学生、高校生や市町村長との意見交換や交流等も行うことができ、生徒にとって非常に良い機会となりました。

**10月11日（火）～12日（水）
新しい体育行事**



コロナウイルス感染症が拡大されるまでは、一学期に球技大会、二学期に体育祭と行事が行われてきましたが、コロナウイルス感染症拡大後は中止を余儀なくされていました。昨年度は生徒にアンケート調査を実施し



たところ、「球技大会をしたい」という意見が多く二学期に球技大会を実施しました。

今年度は、さらに学年やクラスを超えて取り組むことはできないかという思いから、体育祭のブロック制（青・赤・黄の3ブロック）を取り入れ、かつ体育祭の中から実施できそうな競技を検討してきました。

その結果、1日目にバレー・ドッジボール、2日目午前にバドミントン・卓球。午後には綱引き・長縄跳び・綱取り・ブロック対抗リレーを実施することになりました。両日とも生徒たちは各競技に真剣に取り組み、応援する姿はとても感動的なものでした。

総合優勝は青ブロックでした。

11月

**11月2日（水）
文化祭**



今年度の文化祭は、有志の発表が多かったこともあり、1日の午後を有志発表とし、2日の午前を全体鑑賞、午後は自由鑑賞として実施しましたが、残念ながら一般公開は昨年度同様に行いませんでした。なお、有志発表についてはYoutubeで公開しています。クラス発表等についても映像は残していますので、担任を通じてご覧頂くことは可能です。クラス発表については諸般の事情から



youtube での公開は予定しておりませんのでご了承ください。

舞台発表・作品制作展示・吹奏楽演奏・書道パフォーマンスなど準備時間の少ない中でしたがよく仕上げてくれました。



12月

12月14日(水)～16日(金)
九州修学旅行(熊本・長崎)

昨年度は、借り上げバスで四国方面への修学旅行でしたが、今年度は新幹線を利用しての修学旅行を実施しました。

1日目



新幹線で博多へ移動後、太宰府天満宮・九州国立博物館を見学。

2日目



熊本城わくわく

座・熊本城修復工事現場での防災学習・長崎に移動してハウステンボス見学。

3日目

長崎市内散策、大浦天主堂・グラバー園など自由に行動。昼食は中華街で摂る生徒が多かったようです。



串本古座高等学校
地域協議会



串本での2年半を振り返って

娘を串本へ送り出して2年半が過ぎました。入学する前は一人でやっていけるのか、病気になったら大丈夫かな、など不安もありましたが、いざ串本での生活が始まると私が思っている以上に一人暮らしや、高校生活を楽しんでいる様子でした。お弁当作りも自炊も頑張り、一人で病院へ行ったり、先生方や周りの人達を頼るなど、知らない間に生きていく知恵や力を身につけていっているように思います。

そして、大自然の中で、夕焼けや満天の

星空、大きな海の側に身を置くことができる環境は、とてもうらやましく思います。

楽しい経験もたくさんあっただろうし、つらい経験もあっただろうと思います。それ乗り越えたことは、娘の自信になっていけばいいなと思います。

あと半年、残りの高校生活を周りに感謝しながら、大自然を目一杯感じながら過ごしてほしいと思います。

高校の先生方、地域コーディネーターの方々、地域の方々が温かく見守ってくださり本当に感謝の気持ちでいっぱいです。親子共々、優しく受け入れてくださり、本当に串本古座高校に送り出してよかったなと思います。



学校訪問の日に昇った檜野埼灯台

(大津市 大西 成美)

渡辺さんはポンカンを機械に送っていく担当。矢野さんと牛込さんは一杯になったコンテナを取り替える担当です。みんな初めての体験で少し疲れ気味でしたが、最後にコンテナ一杯の切りたてのポンカンをもらって、全員笑顔でポンカン畑を後にしました。

生徒にはもっと地域の自然を「知って」「楽しんで」ほしいと思います。

(コーディネーター)



地域の自然体験中！

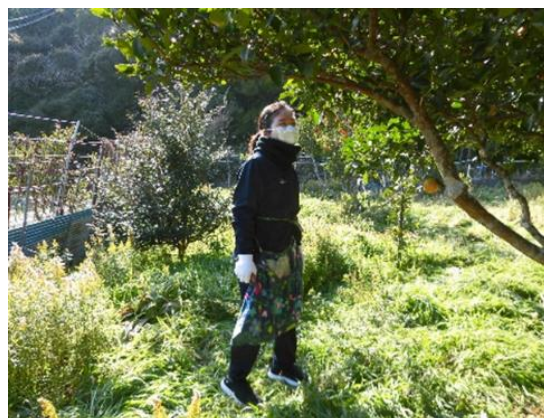
令和5年1月8日、県外生徒（牛込さん・渡辺さん）、地元生徒（矢野さん）の混成グループで「ポンカン収穫体験」に行ってきました。串本町伊串のポンカン農家にお世話になり、収穫から選別まで一連の作業を体験しました。「ポンカンを切り取り」→「コンテナに集積」→「枝の片付け」→「選別機械で選別」のそれぞれの工程を一生懸命手伝っていました。切り取りも「2段切りにして」と注意を受け、教わったとおりに黙々と作業をしていました。

約2時間の作業で10箱ほどのコンテナが一杯になりました。最後はそれを作業場でS寸から2Lまでに仕分ける作業です。

参加者の一言

牛込早希（1年生 名古屋市）

ポンカン収穫は初めての経験で、楽しかったです！脚立に昇ったり、腰を屈めたままの作業をしたりと、思っていたよりも疲れましたが、とれたてのポンカンはみずみずしくて、とても美味しかったです。



渡辺はるか （1年生 神戸市）

ポンカンを収穫するのは初めての体験で、とても楽しかったです。高い所の実をとるのは難しかったです、学校では話さない人とも話ができてよかったです。

もらったポンカンを家で食べましたが、とても美味しくて、祖父母にも分けて喜んでもらいました。



矢野虹心 （1年生 串本町）

先日は貴重な体験をさせていただきました。

普段、身近にあるものだったので、工程を近くで見ることができてよかったなと思いました。体験できて本当に良かったです。

農家のおじさん、本当にありがとうございました。



りました。「収穫する時は傷つけないようにする」「切った枝は他の木が病気にならないよう、すぐ撤去する」などです。

作業の後にいただいたお茶が大変美味しかったと印象に残っています。



引率保護者

全国募集の生徒さんたちとポンカン収穫体験をしてきました。

楽しい時間の中でたくさんを知